

国際戦略総合特区・中部国際空港に係る 要望活動

11月18日(水)・19日(木)、中経連は愛知県等とともに、以下のとおり要望活動を実施した。

■アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区推進協議会による国際戦略総合特区の税制措置延長等の要望

日 時:11月18日・19日

要望先:自由民主党税制調査会

訪問者:大村愛知県知事、三浦中経連常務理事 等
〈要望内容〉

- ①平成28年3月31日を期限とする「国際戦略総合特区設備等投資促進税制」(特別償却又は投資税額控除)を延長すること
- ②関係自治体独自の支援措置の効果が発揮されるよう、地方税を減免した場合の国税における所要の調整措置を創設すること
- ③減価償却の定率法の廃止に向けた動きがあるが、MRJを始めとする航空機の販売(日本型オペレーティングリース)に著しい悪影響を及ぼす懸念があるため、定率法を廃止する場合には、航空機への適用を除外すること

(産業振興部 加藤 信彦)

■中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会による中部国際空港の二本目滑走路を始めとする機能強化の要望

日 時:11月19日

要望先:中部国際空港拡充議員連盟

訪問者:大村愛知県知事、友添中部国際空港(株)
代表取締役社長、三浦中経連常務理事 等

〈要望内容〉

- ①二本目滑走路を始めとする機能強化の実現に向けた環境整備のため、国が主体となって必要な調査検討に取り組むこと
- ②インバウンド旅客の増加に向けた施策を始めと

- する航空需要拡大の取り組みを一層推進すること
- ③空港利用者の利便性向上のための道路・鉄道等アクセスの充実に取り組むこと
- ④伊勢志摩サミットの開催に向け、CIQ(関税、出入国管理、検疫)の充実やファーストレーンの設置を始めとした機能強化に対応すること

(社会基盤部 奥山 基樹)

南海トラフ地震等に対する緊急防災対策 促進大会および要望活動

11月27日(金)、東京都内にて開催された「南海トラフ地震等に対する緊急防災対策促進大会」に、仁坂和歌山県知事、石原愛知県副知事等とともに三浦中経連常務理事が出席した。

促進大会では、中部から九州までの関係自治体および経済団体が連携し、甚大な被害が想定される南海トラフ地震等の大規模な地震・津波災害に対する堤防の整備・補強など、緊急性の高い防災対策の促進要望を決議した。

この後、南海トラフ地震等に対する緊急防災対策促進実行委員会の代表者が、国に対する要望活動を実施した。主な要望内容は以下のとおり。

- ①短時間で津波が襲来する沿岸域や海拔ゼロメートル地帯などのリスクの高い地域における緊急性の高い対策に集中投資し、強靱化を加速できるよう防災・減災に資する予算の総枠を確保すること
- ②最低限必要な対策を集中的に推進するため、新たな財政支援制度を創設するなど支援措置を講じること

(社会基盤部 西井 憲治)

日銀総裁と中部経済界との金融経済懇談会

11月30日(月)、黒田日本銀行総裁と中部経済界との懇談会が名古屋市内にて開催され、中経連から三田会長等多数が出席した。

黒田総裁は、2013年4月に導入した「量的・質的金融緩和」が所期の効果を発揮しており、今後も必要な時点まで継続する旨を述べた。また、



2%の物価安定目標の早期実現に向けて必要であれば躊躇なく対応するとし、改めてデフレ脱却に向けて強い意志を示した。

これに続く中部経済界からの発言の中で、三田会長は、当地域については緩やかな改善が続いているとした上で、景気にやや足踏み感が出てきているため先行きについては注意深く見守る必要があると述べた。また、日本銀行に対しては、本会が実施した北欧・ドイツ経済視察団の見聞も交えて長期的な施策の重要性を指摘するとともに、本会が実現に向け要望活動を行っている民間企業の防災・減災投資の必要性に触れ、企業投資を促す資金供給スキームの拡充検討を要請した。

(調査部 山崎 豊)

駐日オーストラリア大使 表敬訪問

12月2日(水)、駐日オーストラリア大使のブルース・ミラー氏、オーストラリア大使館参事官のポール・ハリス氏等が経済懇談を目的に中経連を訪れ、三田会長、伊藤専務理事等と懇談した。

ミラー氏から「日本とオーストラリアは重要な経済パートナーであり、2015年1月に発効した日・オーストラリア経済連携協定により、既に強い信頼関係で結ばれている。エネルギー・鉱物資源や農産物、観光など、様々な面で一層協力し、中部圏と経済はもちろん人的交流をさらに深めていきたい」との発言があった。

これに対し、三田会長は「TPPではデメリットばかりが議論されているが、お互いの良い面を見て、弱みを強みに変えて行きたい」と述べた。さらに、「オーストラリアから大勢のスキー客が長野県白馬村を訪れているが、中部圏は雪だけでなく桜も同時期に見られる地域である。日本の四季を感じてもらうためにもっと中部を訪れていただきたい。また、オーストラリアは大変魅力的な国だが、中部圏からの直行便がなく不便を感じている。直行便就航を目指して活動しているので、大使館にはぜひ協力をお願いしたい」と述べた。

(国際部 平山 りえ)



会員増強に
ご協力ください

入会金制度廃止につき 新入会員大募集

中経連は、昨年6月に開催した第4回定時総会において、入会金制度の廃止を決定いたしました。つきましては、仲間をもっと増やし、これまで以上に地域の期待に応え、より大きな成果をあげていきたいと思っております。この機会にぜひとも新しい仲間をご紹介ください。何卒ご協力をお願い申し上げます。